



# 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月27日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社トーカイ  
コード番号 9729 URL <http://www.tokai-corp.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野木 孝二  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理本部長 (氏名) 堀江 範人

TEL 058(263)5111

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	60,222	3.4	4,882	21.1	5,157	21.5	2,906	16.6
22年3月期第3四半期	58,229	2.6	4,031	20.6	4,245	16.3	2,493	22.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	163.00	—
22年3月期第3四半期	145.96	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	56,218	31,917	56.4	1,778.34
22年3月期	55,985	29,618	52.5	1,649.68

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 31,709百万円 22年3月期 29,416百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	4.00	—	12.00	16.00
23年3月期	—	10.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

※22年3月期期末配当金の内訳 記念配当 4円00銭

## 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,772	2.5	6,200	19.1	6,500	19.3	3,697	9.1	207.33

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)1. 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

2. (株)エム・イー・工房および(有)山本綿業を、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めておりますが、特定子会社には該当しません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 18,020,673株 22年3月期 18,020,673株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 189,519株 22年3月期 189,157株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 17,831,366株 22年3月期3Q 17,081,727株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】P.2「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、エコポイント制度を始めとする施策特需の下支えにより緩やかな回復の兆しが見られたものの、欧州の信用不安や米国景気の停滞を背景とした円高の進行、依然厳しい雇用情勢や新興国需要による原材料価格の高騰など、景気の下振れ懸念を払拭するには至らず、回復は足踏み状態となっております。

このような状況の下、当第3四半期における当社グループの連結売上高は、コアセグメントである「健康生活サービス」、「調剤サービス」が、高齢人口の増加を背景に堅調に推移し、売上高の伸長に貢献しました。

「健康生活サービス」では、医療機関からのアウトソーシングを行う病院関連事業が、新規アイテム拡販や大型PFI案件(多摩総合医療センター・小児総合医療センター)の本格稼働に伴う受注増により増収を達成しました。更に、介護用品レンタルを行うシルバー事業が、淡路営業所の新規開所などきめ細かな営業体制の拡充を進めレンタル売上を伸長し、前年同期比二桁の増収を達成し、業績を牽引しました。

もう一つの主要セグメントである「調剤サービス」では、新規開局や処方箋受付回数の増加により、薬剤料売上、技術料売上共に伸ばし、増収効果とコスト圧縮により大幅な増益を果たすことができました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の連結経営成績は、売上高は19億92百万円増の602億22百万円(前年同期比3.4%増)と順調に推移することができました。また、利益面につきましては、これら増収効果が寄与したことに加え、グループ挙げてのコスト圧縮運動が奏功し、営業利益は8億50百万円増の48億82百万円(前年同期比21.1%増)、経常利益は9億11百万円増の51億57百万円(前年同期比21.5%増)、四半期純利益は4億13百万円増の29億6百万円(前年同期比16.6%増)となり、増収増益を達成しました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は562億18百万円(前連結会計年度末比2億32百万円増)、負債は243億円(前連結会計年度末比20億66百万円減)となりました。純資産は319億17百万円(前連結会計年度末比22億98百万円増)、自己資本比率は56.4%(前連結会計年度末比3.9ポイント増)となりました。

このうち、負債の減少につきましては、支払手形及び買掛金が3億68百万円増加したものの、借入金が19億85百万円および賞与引当金が4億27百万円減少したことなどによるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

現段階で入手可能な資料に基づき平成23年3月期通期の連結業績予想を検討した結果、平成22年12月13日に発表しました業績予想の修正数値を踏襲いたします。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① 簡便な会計処理

##### 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法によっております。

##### 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、主として加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### ② 四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ7百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は、67百万円減少しております。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,487	8,709
受取手形及び売掛金	11,293	10,773
たな卸資産	2,718	2,233
繰延税金資産	1,410	2,355
その他	513	1,013
貸倒引当金	△126	△123
流動資産合計	26,296	24,962
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,603	9,915
機械装置及び運搬具(純額)	1,877	2,088
土地	8,691	8,509
その他(純額)	2,136	1,788
有形固定資産合計	22,309	22,301
無形固定資産		
のれん	317	384
その他	805	827
無形固定資産合計	1,122	1,211
投資その他の資産		
投資有価証券	2,416	2,775
繰延税金資産	1,694	2,403
その他	2,417	2,366
貸倒引当金	△38	△36
投資その他の資産合計	6,489	7,509
固定資産合計	29,922	31,022
資産合計	56,218	55,985

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,881	8,512
短期借入金	2,656	3,791
1年内償還予定の社債	170	240
未払法人税等	260	482
賞与引当金	614	1,041
役員賞与引当金	45	69
その他	3,768	3,790
流動負債合計	16,396	17,929
固定負債		
社債	1,500	1,550
長期借入金	3,091	3,942
繰延税金負債	39	45
退職給付引当金	1,282	1,201
役員退職慰労引当金	317	300
その他	1,671	1,397
固定負債合計	7,903	8,436
負債合計	24,300	26,366
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,108	8,108
資本剰余金	4,662	4,662
利益剰余金	19,341	16,817
自己株式	△206	△205
株主資本合計	31,906	29,382
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△177	54
繰延ヘッジ損益	△19	△20
評価・換算差額等合計	△196	34
新株予約権	5	—
少数株主持分	202	202
純資産合計	31,917	29,618
負債純資産合計	56,218	55,985

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	58,229	60,222
売上原価	43,967	44,938
売上総利益	14,262	15,283
販売費及び一般管理費	10,230	10,401
営業利益	4,031	4,882
営業外収益		
受取利息	21	17
受取配当金	45	45
匿名組合投資利益	128	79
その他	180	289
営業外収益合計	376	432
営業外費用		
支払利息	126	108
その他	36	48
営業外費用合計	162	157
経常利益	4,245	5,157
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	43
貸倒引当金戻入額	13	0
特別利益合計	14	44
特別損失		
固定資産除却損	45	8
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	60
減損損失	16	—
その他	4	18
特別損失合計	66	87
税金等調整前四半期純利益	4,193	5,114
法人税、住民税及び事業税	464	549
法人税等調整額	1,231	1,658
法人税等合計	1,695	2,207
少数株主損益調整前四半期純利益	—	2,906
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4	△0
四半期純利益	2,493	2,906



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。